my.cnf変更箇所リスト

※インデックスの最大文字列数も716パイトに ※インデックスの最大文字列数も716パイトに 11 必須	my.cnf変更箇所リスト				
2	No. 必須/参考	初期値	astrollインストール後	備考	
3	1 必須	なし	default_password_lifetime = 0		
4	2 必須	なし	log_timestamps=SYSTEM		
5	3 必須	なし	skip-character-set-client-handshake		
8 必須 なし max.connections=100 astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 7 必須 なし self_mode=No_ENGINE_SUBSTITUTION_STRICT_TRANS_TABLES astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 8 必須 なし inmode_file_per_table astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 10 必須 なし inmode_file_format=Barracuda Barracudaを指定することでDBファイルが圧縮されるため、パワーと引き換えに十分なパフォーマンスを引き出してれた。ペイプーと引き換えに十分なパフォーマンスを引き出してれた。ペイプーと引き換えにサウなの最大文字列敷を打除がイトー3017パイトに記してチューニングを検討。 11 必須 なし inmode_file_format=Barracuda astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 12 参考 なし inmode_file_format=Barracuda astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 13 参考 なし inmode_file_file_size=128M astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 14 参考 なし inmode_file_file_size=128M astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 15 参考 なし inmode_file_file_size=128M astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 16 参考 なし join_buffer_size=64M astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 17 参考 なし max_allowed_packet=8M astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 18 参考 なし read_buffer_size=32 astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 20 参考 なし query_cache_limit=16 astrollの使い方に応じてチューニングを検討。	4 必須	なし	explicit_defaults_for_timestamp = true		
### ACL sql_mode=NO_ENGINE_SUBSTITUTION_STRICT_TRANS_TABLES ### ACL nnodb_buffer_pool_size = 256MB astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 nnodb_file_format=Barracuda Barracudaを指定することでDBファイルが圧縮されるため、パワーと目き換えに十分なパフォーマンスを引き出してくれ、ポインデックスの最大文字列数も716パイトー3017パイトに 3を表	5 必須	なし	character-set-server = utf8		
8 必須 なし innodb_buffer_pool_size = 256MB astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 9 必須 なし innodb_file_per_table 10 必須 なし innodb_file_format=Barracuda 110 必須 なし innodb_file_format=Barracuda 111 必須 なし innodb_file_format=Barracuda 112 参考 なし innodb_log_buffer_size=32M astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 113 参考 なし innodb_log_buffer_size=32M astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 114 参考 なし innodb_log_file_size=128M astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 115 参考 なし win_examined_row_limit=100 astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 116 参考 なし join_buffer_size=32M astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 117 参考 なし max_allowed_packet=8M astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 118 参考 なし read_buffer_size=32 astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 119 参考 なし read_rod_buffer_size=32 astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 119 参考 なし astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 110 参考 なし astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 111 参考 なし read_rod_buffer_size=32 astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 112 参考 なし astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 113 参考 なし astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 114 参考 なし read_rod_buffer_size=32 astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 115 参考 なし astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 116 参考 なし astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 117 参考 なし astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 118 参考 なし read_rod_buffer_size=32 astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 119 参考 なし astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 110 参考 なし astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 111 参考 なし max_pr_cursion_depth=20 MySQLのファンクションにて再帰呼び出しする際に必要。 111 から は max_pr_cursion_depth=20 MySQLのファンクションにて再帰呼び出しする際に必要。 112 を考 なし transaction=isolation=READ_COMMITTED Transaction=READ_COMMITTED	6 必須	なし	max_connections=100	astrollの使い方に応じてチューニングを検討。	
9 必須 なし innodb_file_per_table 10 必須 なし innodb_file_format=Barracuda Barracudaを指定することでDBファイルが圧縮されるため、パワーと引き換えに十分なパフォーマンスを引き出してくれ、※インデックスの最大文字列数も716パイトー3017パイトにご 11 必須 なし innodb_large_prefix astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 12 参考 なし innodb_log_buffer_size=32M astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 13 参考 なし innodb_log_file_size=128M astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 14 参考 なし min_examined_row_limit=100 astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 15 参考 なし pin_buffer_size=128M astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 16 参考 なし pin_buffer_size=64M astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 17 参考 なし max_allowed_packet=8M astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 18 参考 なし read_puffer_size=32 astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 20 参考 なし read_puffer_size=32 astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 21 参考 なし query_cache_limit=16 astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 22 参考 なし query_cache_size=256M astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 23 参考 なし query_cache_size=32M astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 24 参考 なし max_sp_recursion_depth=20 MySQLのファンクランコンスクラム(Oran MySQLのファンクランボルトの合成レバル・のとりまでは、アーニングを検討。 26 必須 なし max_sp_recursion_	7 必須	なし	sql_mode=NO_ENGINE_SUBSTITUTION,STRICT_TRANS_TABLES		
10 必須 なし innodb_file_format=Barracuda Barracudaを指定することでDBファイルが圧縮されるため、パワーと引き換えに十分なパフォーマンスを引き出してれ、ペインデックスの最大文字列数も716パイトー3017パイトに、ペインデックスの最大文字列数も716パイトー3017パイトに、ペインデックスの最大文字列数も716パイトー3017パイトに、ペインデックスの最大文字列数も716パイトー3017パイトに、ペインデックスの最大文字列数も716パイトー3017パイトに、ペインデックスの最大文字列数も716パイトー3017パイトに、ペインデックスの最大文字列数も716パイトー3017パイトに、ペインデックスの最大文字列数も716パイトー3017パイトに、ペインデックスの最大文字列数も716パイトー3017パイトに、ペインデックスの最大文字列数も716パイトー3017パイトに、ペインデックスの最大文字列数も716パイトー3017パイトに、ペインデックを検討。	8 必須	なし	innodb_buffer_pool_size = 256MB	astrollの使い方に応じてチューニングを検討。	
※インデックスの最大文字列数も716パイトー3017パイトに ※インデックスの最大文字列数も716パイトー3017パイトに ※ 表し innodb large prefix astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 astrollの使い方に応じて	9 必須	なし	innodb_file_per_table		
12 参考 なし innotb_log_buffer_size=32M astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 Apy Opy Day Day Day Day Day Day Day Day Day Da	10 必須	なし	innodb_file_format=Barracuda	Barracudaを指定することでDBファイルが圧縮されるため、多少のCPU パワーと引き換えに十分なパフォーマンスを引き出してくれる。 ※インデックスの最大文字列数も716パイト→3017バイトに拡張される。	
13 参考 なし innodb_log_file_size=128M astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 strollの使い方に応じてチューニングを検討。 astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 Apstrollの使い方に応じてチューニングを検討。 Apstrollの使い方に応じてチュースを使い方に応じてチュースを使い方に応じてチュースを使い方に応じてチュースを使い方に応じてチュースを使い方に応じてチュースを使い方に応じてチュースを使い方に応じてチュースを使い方に応じてチュースを使い方に応	11 必須	なし	innodb_large_prefix		
14 参考 なし min_examined_row_limit=100 astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 15 参考 なし key_buffer_size=128M astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 Astrollの使い方に応じてチューニングを検討を使い方に応じてチューニングを検討を使い方に応じてがらいるに対しては、 Astrollの使い方に応じてがらいるに対しては、 Astrollの使い方に応じてがらいるに対しては、	12 参考	なし	innodb_log_buffer_size=32M	astrollの使い方に応じてチューニングを検討。	
15	13 参考	なし	innodb_log_file_size=128M	astrollの使い方に応じてチューニングを検討。	
16	14 参考	なし	min_examined_row_limit=100	astrollの使い方に応じてチューニングを検討。	
17	15 参考	なし	key_buffer_size=128M	astrollの使い方に応じてチューニングを検討。	
8	16 参考	なし	join_buffer_size=64M	astrollの使い方に応じてチューニングを検討。	
19 参考 なし read_rmd_buffer_size=32 astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 20 参考 なし sort_buffer_size=32 astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 21 参考 なし query_cache_limit=16 astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 22 参考 なし query_cache_size=256M astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 23 参考 なし query_cache_type=1 astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 25 参考 なし max_heap_table_size=32M astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 25 参考 なし tmp_table_size=32M astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 Astrollの使い方に応じてチュースを使い方に応じてチュースを使い方に応じてディングを検討を使い方に応じてディングを検討を使い方に応じてディングを使い方に応じてディングを検討を使い方に応じてディングを使い方に応じてディングを使い方に応じてディングを検討を使い方に応じてデ	17 参考	なし	max_allowed_packet=8M	astrollの使い方に応じてチューニングを検討。	
20 参考 なし sort_buffer_size=32 astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 21 参考 なし query_cache_limit=16 astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 22 参考 なし query_cache_size=256M astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 23 参考 なし query_cache_type=1 astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 25 参考 なし max_heap_table_size=32M astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 25 参考 なし tmp_table_size=32M astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 3 を なし max_sp_recursion_depth=20 MySQLのファンクションにて再帰呼び出しする際に必要。 3 を なし transaction-isolation=READ-COMMITTED トランザクションの分離レベルを指定。	18 参考	なし	read_buffer_size=32	astrollの使い方に応じてチューニングを検討。	
21 参考 なし query_cache_limit=16 astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 22 参考 なし query_cache_size=256M astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 23 参考 なし query_cache_type=1 24 参考 なし max_heap_table_size=32M astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 25 参考 なし tmp_table_size=32M astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 26 必須 なし max_sp_recursion_depth=20 MySQLのファンクションにて再帰呼び出しする際に必要。 27 必須 なし transaction-isolation=READ-COMMITTED トランザクションの分離レベルを指定。 「READ-COMMITTED」は多くのデータベースシステム(Ora_PostgreSQL、SQL Server)でデフォルトの分離レベル。 MySQLのデフォルトは「REPEATABLE-READ」であるがastratic SQL Server でデフォルトの分離レベル。 MySQLのデフォルトは「REPEATABLE-READ」であるがastratic SQL SQL Server でデフォルトの分離レベル。 MySQLのデフォルトは「REPEATABLE-READ」であるがastratic SQL	19 参考	なし			
22 参考 なし query_cache_size=256M astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 23 参考			sort_buffer_size=32		
23 参考 なし query_cache_type=1 24 参考 なし max_heap_table_size=32M astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 25 参考 なし tmp_table_size=32M astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 26 必須 なし max_sp_recursion_depth=20 MySQLのファンクションにて再帰呼び出しする際に必要。 27 必須 よし transaction=isolation=READ=COMMITTED トランザクションの分離レベルを指定。「READ=COMMITTED」は多くのデータベースシステム(Ora PostgreSQL、SQL Server)でデフォルトの分離レベル。MySQLのデフォルトは「REPEATABLE=READ」であるがastri 針と合わないため変更する必要がある。					
24 参考 なし max_heap_table_size=32M astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 25 参考 なし tmp_table_size=32M astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 26 必須 なし max_sp_recursion_depth=20 MySQLのファンクションにて再帰呼び出しする際に必要。 27 必須 なし transaction-isolation=READ-COMMITTED トランザクションの分離レベルを指定。「READ-COMMITTED」は多くのデータベースシステム(Ora PostgreSQL、SQL Server)でデフォルトの分離レベル。MySQLのデフォルトは「REPEATABLE-READ」であるがastra 針と合わないため変更する必要がある。				astrollの使い方に応じてチューニングを検討。	
25 参考 なし tmp_table_size=32M astrollの使い方に応じてチューニングを検討。 26 必須 なし max_sp_recursion_depth=20 MySQLのファンクションにて再帰呼び出しする際に必要。 27 必須 なし transaction-isolation=READ-COMMITTED トランザクションの分離レベルを指定。「READ-COMMITTED」は多くのデータベースシステム(Orat PostgreSQL、SQL Server)でデフォルトの分離レベル。MySQLのデフォルトは「REPEATABLE-READ」であるがastri 針と合わないため変更する必要がある。					
April 20 MySQLのファンクションにて再帰呼び出しする際に必要。					
27 必須 なし transaction-isolation=READ-COMMITTED トランザクションの分離レベルを指定。「READ-COMMITTED」は多くのデータベースシステム(Orac PostgreSQL、SQL Server)でデフォルトの分離レベル。MySQLのデフォルトは「REPEATABLE-READ」であるがastr 針と合わないため変更する必要がある。					
「READ-COMMITTED」は多くのデータベースシステム(Orac PostgreSQL、SQL Server)でデフォルトの分離レベル。 MySQLのデフォルトは「REPEATABLE-READ」であるがastr 針と合わないため変更する必要がある。					
25 参考 なし validate-password=OFF				「READ-COMMITTED」は多くのデータベースシステム(Oracle、PostgreSQL、SQL Server)でデフォルトの分離レベル。 MySQLのデフォルトは「REPEATABLE-READ」であるがastrollの利用方	
	25 参考	なし	validate-password=OFF		